



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

会報

平成30年2月

第127号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028
FAX 099-248-0028

巻頭言	公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会	
	会長 太田原 美郎	1
案内	第36回南薩地域研修会（超音波研究会との合同開催）	2
	超音波研究会からのお知らせ	3
	平成29年度霧島・始良地域冬期研修会	4
	平成29年度霧島・始良地域夏期研修会	5
報告	第41回大隅地域研修会報告	7
	第35回 南薩地域研修会終了報告	11
	平成29年度 北薩地域研修会・鹿児島MRI研究会	
	合同開催終了報告	15
	レントゲン週間イベント活動報告	19
	第34回市民健康まつり活動報告	21
	第12回九州放射線医療技術大会開催報告	23
	（公社）鹿児島県放射線技師会70周年記念式典・祝賀会	26
	柔道整復師法の一部を改正する法律案に対する	
	反対表明決議について	36
理事会議事録		
	平成29年度 第1回 常務理事会議事録（抄）	39
編集後記		42
広告掲載一覧		43
広告		

創立70周年にあたり

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会長 太田原 美郎



本会は、昭和22年に鹿児島県診療エックス線技師会として設立され、先達の計り知れない苦難を経て、ここまで成長してまいりました。平成29年度はその後70年の節目の年にあたり、先人の苦勞をしのび、その業績をたたえますとともに本会に設立当時よりご指導、ご支援いただいております医療職能団体をはじめ日本診療放射線技師会、九州各県診療放射線技師会、関連企業の皆様のご臨席のもと、三反園鹿児島県知事をお招きし「創立70周年記念式典」を開催いたしました。

我が国における医療従事者の資格に関する法制度の歴史を紐解いてみますと、明治7年に発布されました医制による医師・歯科医師の免許制度、大正4年に制定されました看護婦規則による看護婦等の免許制度とされております。これらの法制度は、戦後間もない昭和23年7月、国民医療法から分離され、現在の資格制度に移行されてきたものであります。

一方、本会の前身であります鹿児島県エックス線技師会が創立されました昭和22年当時は、会員数わずか13名というものであります。我が国にX線装置が輸入されましたのは明治時代でありましたが、当時はまだ診療エックス線技師法という資格制度はなく、X線を診療用として取り扱う技術者の団体でありました。諸先輩方の苦難に満ちたたゆまぬ努力により、技術者の資質の確保と身分の保証を図ることを目的として、診療エックス線技師法が昭和26年6月に制定されました。そして更なる困難を乗り越え、昭和58年には診療放射線技師法および診療エックス線技師法の一部改正が行われ、職種の本体化が成就いたしております。

今や鹿児島県の診療放射線技師会の会員数は500名を超え、業務範囲もX線撮影、CT、MRI、核医学、放射線治療、超音波、眼底写真と大きく発展してまいりました。これも一重に、先輩諸氏の計り知れない苦難辛苦はもちろんのこと、関連団体の皆様のご指導とご支援の賜物と心より感謝いたすところであります。

平成26年6月の第186回通常国会におきまして、「地域医療・介護総合確保推進法」が成立し、診療放射線技師法も改正され業務拡大が実現いたしました。私どもは超少子・高齢社会の到来に対応すべく、救急医療だけではなく在宅介護福祉分野においても専門性の高い画像診断治療技術を提供していく責務があると考えております。これまで以上に会員の職業倫理の高揚と技術的、人間的な研鑽を重ね、県民保健、医療の安全と質の向上・維持に他のメディカルスタッフの皆さまと共に協力し努力してまいりますことをお約束いたします。

(創立70周年記念式典式辞より)

案内

第36回 南薩地域研修会（超音波研究会との合同開催）

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
理事 野中 康博

拝啓

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

前回12月1日付け案内にてお知らせの通り、第36回南薩地域研修会を下記日程にて開催いたします。今回は超音波研究会との合同開催で基礎的な分かりやすい話題提供をいたします。超音波検査に興味のある方、今後携わっていかれる方、多数のご出席の程、宜しく願います。

記

開催日：平成30年2月24日（土）

時間：14時30分～18時

会場：指宿医療センター 別館研修室（指宿市十二町4145 ☎0993-22-2231）

■研修会（1月18日現在の内容です。以降の変更分はホームページにてお知らせいたします。）

1. メーカー講演

- ①『超音波診断装置の最新技術』 日立製作所 香西和久 様
- ②『運動器エコーの基礎』 コニカミノルタ 谷口 隆 様

2. 超音波研究会

- ①『US検査のいいところ～循環器・血管編～』 指宿浩然会病院 國生岳志 技師
- ②『私のルーチン検査法～腹部編～』 いずろ今村病院 上釜健作 技師
- ③『肝臓を診る』
 - (1) USで診るびまん性肝疾患 霧島市立医師会医療センター 塩屋晋吾 技師
 - (2) USで診る肝腫瘤性病変(CT、MRIとの比較) 鹿児島厚生連病院 西 憲文 技師

■懇親会

18時30分～居酒屋「くつろぎ処 なんつぁならん」電話0993-22-6268

※「放射線技師会」で予約しています。会費制3,000円程度、参加者には別途案内いたします。

◎非会員の方は参加費として2,000円を徴収いたします。ご了承下さい。

◎南薩地域の方には出欠表を送付いたします。FAXまたはメーカー便にて送付ください。

案内

超音波研究会からのお知らせ

霧島市立医師会医療センター 超音波研究会
塩屋 晋吾

今年度最初で最後の超音波研究会を南薩支部との合同研修会として開催致します。

日時； 2018年2月24日(土) 14：30～18：00

会場； 指宿医療センター

超音波研究会の企画としましては、循環器領域での超音波検査の有用性のレクチャーや腹部領域のルーチン走査法の紹介、また肝臓にターゲットを絞り超音波でのびまん性肝疾患や腫瘍性病変の評価をCT/MRIの他モダリティと絡めた講演を予定しています。

超音波検査に携わったことのない方や初心者の方にも超音波の魅力が少しでも伝えられるような会となるようスタッフ一同がんばりますのでぜひ多くの参加をお待ちしています。

案内

平成29年度霧島・始良地域冬期研修会

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
霧島・始良地域理事 坂口 右己

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
下記日程にて鹿児島県放射線技師会 霧島・始良地域研修会を予定しております。
多数のご出席とご協力の程、宜しく願いいたします。

記

日時 : 平成30年3月3日(土) 15:00～17:30
会場 : 鹿児島医療生活協同組合 国分生協病院 会議室2
内容 :

- I. 会長挨拶(県技師会活動報告) 15:00～15:10
- II. 一般演題 15:10～15:40

1. 腰椎脊髓造影とMRIにおける造影欠損像の比較検討

医療法人 術徳会 霧島整形外科 松永大和

2. 診療放射線技師のインシデント報告

霧島市立医師会医療センター 大迫英旗

(他1～2演題予定)

- III. 施設見学 15:40～16:00
鹿児島医療生活協同組合 国分生協病院 放射線部
- IV. メーカー講演 16:10～16:40

『遠隔読影システムについて』

富士フィルムメディカル株式会社 大平進也先生

- V. 施設発表 16:40～17:30

『～遠隔読影の現状について～』

- ①国分生協病院 ②加治木温泉病院 ③霧島記念病院
- ④霧島市立医師会医療センター ⑤青雲会病院

※技師会非会員のみ会場整理費として2000円徴収いたします。

※会終了後、情報交換会を予定しています。奮って参加下さい。

【問い合わせ】 霧島・始良地域 坂口・佐々木(霧島市立医師会医療センター)

0995-42-1171(内線242)

Facebook 『鹿児島県放射線技師会 霧島・始良地域』

平成29年度 霧島・始良地域夏期研修会報告

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
霧島・始良地域理事 坂口 右己

1.日程

日時：平成29年7月29日(土) 15:00～17:30
会場：加治木温泉病院 2階 大会議室

2.会内容

I. 会長挨拶 鹿児島県診療放射線技師会副会長 野中康博



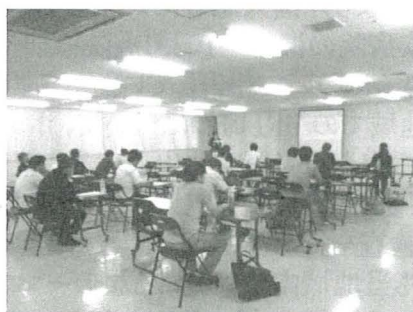
II. 一般演題

『当院での外国人への対応に関するアンケート結果報告』

医療法人七徳会 大井病院 愛下 剛

III. 施設紹介・機器導入紹介

1. 医療法人財団 浩誠会 霧島杉安病院 桐木平直輝
2. 霧島市立医師会医療センター 高崎隆太



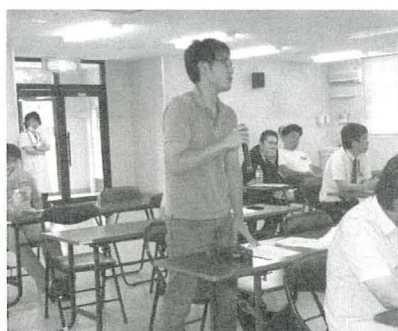
IV. パネルディスカッション

座長 霧島市立医師会医療センター 坂口右己

『MRI撮影 ルーチンプロトコルの紹介から応用ならびに工夫してる点』

～ 私はこちら撮ってます ～

- | | | |
|-------------|----------------|------|
| ●頭頸部領域 | 医療法人健康会 霧島記念病院 | 井出大剛 |
| ●椎体領域 | 医療法人術徳会 霧島整形外科 | 松永大和 |
| ●上腹部領域 | 霧島市立医師会医療センター | 福元 健 |
| ●骨盤部その他四肢領域 | 医療法人七徳会 大井病院 | 愛下 剛 |



3. 出席者 26名

《内訳》 JART 会員 23名 非会員 9名 メーカー 2名

4. 総評

今回は始良市の加治木温泉病院のスタッフの方々のご協力のもと、場所も提供して頂き無事開催することが出来ました。野中副会長より会長代理挨拶と技師会の活動報告をしていただき、一般演題は1演題でしたが、大井病院の愛下氏より外国人患者に対する病院の先進な取り組みを教えていただきました。施設報告として、霧島杉安病院の桐木平氏より病院概要や機器の紹介、霧島市立医師会医療センターの高崎氏より3TMRIの導入について報告していただきました。

そして今回のメインテーマは当地域でのMRI撮像について、ポジショニングから、撮像方法、工夫している点などを領域ごとに4施設(霧島記念病院 井出氏、霧島整形外科 松永氏、霧島市立医師会医療センター 福元氏、大井病院 愛下氏)より報告していただきました。装置メーカーの違いはあるものの、他の病院がどのようにMRI検査を行なっているか、また、留意している点なども含め、各々が役立てたのではないのでしょうか。今後も当地域内でいろいろなテーマで討論を行い、良いものは取り入れ、疑問点は解決して、技術のレベルアップと情報の共有を行なっていけたらと感じました。

第41回大隅地域研修会報告

(公社)鹿児島県診療放射線技師会 大隅地域理事
島見 未治

日時 平成29年9月30日(土) 14時30分 ~ 18時30分
会場 大隅鹿屋病院 別館2階講堂

【開会の挨拶】(公社)鹿児島県診療放射線技師会大隅地域理事 島見 未治

【県技師会活動報】(公社)鹿児島県診療放射線技師会理事 岩元 博史

【会員報告】14:40 ~ 15:10

1. 第40回大隅地域研修会アンケート結果報告 鹿屋医療センター 牧迫 佑紀
2. 64列マルチスライスCT装置紹介(SOMATOM Perspective) 垂水中央病院 市園 淳二
3. 一般撮影の新しい画像処理技術の臨床使用経験 塩川医院 山下 達也

【話題提供】15:10 ~ 15:50

1. 「単純X線撮影で表現する胸部動態解析技術」
コニカミノルタジャパン(株) 九州支店 営業推進グループ 三宅 啓明
2. 「東芝メディカル製CTの最新トピックス ~ 超高精細CT装置を中心に ~」
東芝メディカルシステムズ株式会社 九州支社 営業推進部 小竹 啓介

【フレッシューズセミナー】16:00 ~ 16:30 座長:深水 武(大隅鹿屋病院)

「撮影時における移乗介助と注意点(実技指導含む)」

大隅鹿屋病院リハビリテーション科 上甫木 猛先生(PT) 米澤 照也先生(OT)

【テーマ討論】16:35 ~ 17:30

座長:永山 崇臣(大隅鹿屋病院) 市園 淳二(垂水中央病院)

~ CT検査における画像処理法(MPR・3D画像等)について ~

1. 基調講演「検査における画像処理(MPR・3D画像等)の有用性について」
今給黎総合病院 中央放射線部技師長 新村 栄次
2. 各施設運用一覧報告:大隅地域学術世話人(永山 崇臣・市園 淳二) 協力施設(鹿屋医療センター・おぐら病院・池田病院・昭南病院・垂水中央病院・大隅鹿屋病院)

【教育講演】17:40 ~ 18:30 座長:熊谷 繁夫(昭南病院)

「増える肺癌 ~放射線技師さんへの要望~」

医療法人愛誠会 昭南病院 外科部長

社会医療法人鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院外科部長 朝戸 裕二先生

【閉会の挨拶】 大隅地域世話人 熊谷 繁夫

第 41 回大隅地域研修会報告

大隅地域理事 島兒 末治

8月5日大隅鹿屋病院で開催予定であった大隅地域研修会は台風接近の為、9月30日に変更し39名(会員24名・非会員4名・学生1名・他職種2名、メーカー8名)の参加があった。

会員報告は、研修会アンケート結果を含め3演題あり会場からの質問も多かった。

話題提供として動画対応 FPD を用い、胸部の連続撮影(10～15秒程度)行う事で①横隔膜の動き②換気画像③血流画像等の評価が可能となる事から今後も動向を注目する必要性を強調された。

次にCTの分解能を0.5mmから0.25mmに向上させ、同時に低振動寝台を用いX線管球の焦点サイズを最小にすることでノイズのない鮮鋭画像を得られ、見えなかったものが見えるようになる超高精細CT装置の診断向上について報告があった。

フレッシュセミナーでは、椅子からの正常起立の方法の説明や車椅子から寝台への移乗動作介助及び移乗時の注意点について実技を交えた講演をして頂き、患者移乗を見直す良い機会となった。

テーマ討論では、今給黎総合病院の新村栄次技師を交えて画像処理の方法や問題点等について活発な意見交換が行われ、中でもMPR画像をCT本体で、3D画像はワークステーションで画像作成を行っている施設が多い事や、画像処理マニュアルを作成していない施設があるなど今後の課題となった。

朝戸裕二先生は、結節を発見したらその部位のHRCT(高分解能)画像を作成する必要性を強く要望された。また、動画を交えての標準開胸や胸腔鏡による術中画像は大変興味深いものであった。

研修会開催において天災時の緊急な開催延期の判断や会員への連絡がタイムリーにできなかった等の課題が残った。今後は、研修会延期決定の日時限度や太田原会長が提唱されている「緊急連絡網」の構築が急務であると捉えておりますので会員の皆様のご協力をお願いします。

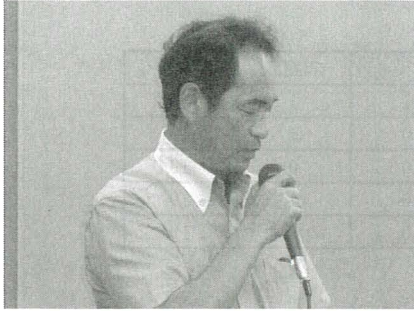
最後に今回のアンケート結果より、研修会時間が長いという意見を踏まえ研修内容を凝縮し時間短縮に努めたいと考えますので引き続き積極的な参加をお願いします。

【 平成 29・30 年度 大隅地域理事・世話人 】

地域理事	：	島兒 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院
総務	：	深水 武	大隅鹿屋病院
学術	：	牧迫 佑紀	県民健康プラザ鹿屋医療センター
学術	：	永山 崇臣	大隅鹿屋病院
学術	：	熊谷 繁夫	昭南病院
学術	：	市園 淳二	垂水市立医療センター垂水中央病院
広報編集	：	石原 剛	池田病院
福利厚生	：	山本 秀明	おぐら病院
組織表彰	：	児玉 公輝	県民健康プラザ鹿屋医療センター

【 参加者 】

島見 末治	深水 武	寒水 諒	永山 崇臣	山本 秀明
熊谷 繁夫	石原 剛	清水 香織	市園 淳二	坂本 幸望
岩元 博史	新村 栄次	牧迫 佑紀	山下 達也	白木 龍之進
児玉 公輝	餅原 信広	原島 勝己	安永 勇太	吉福 淳
古川 希望	田之上 武士	吉水 勝哉		



岩元総務理事



島見地域理事



牧迫技師



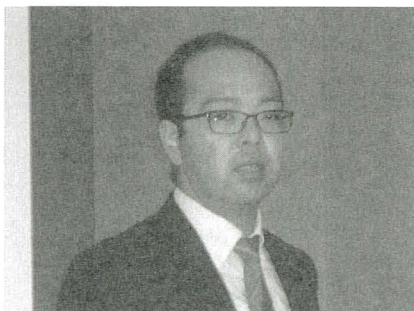
市園技師



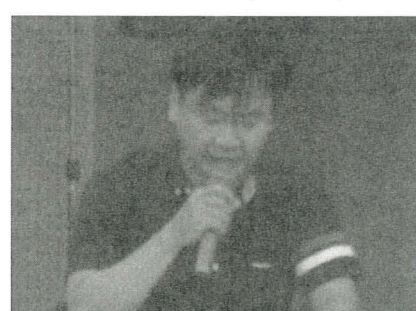
山下技師



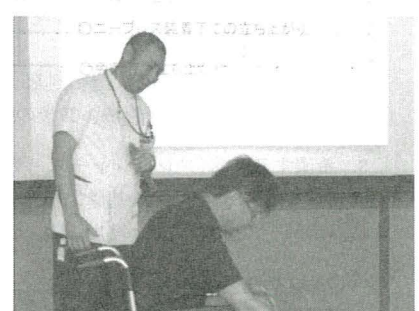
三宅氏



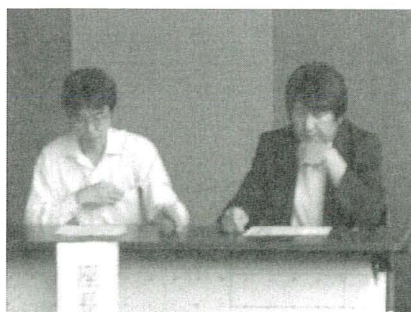
小竹氏



フレッシュズセミナー(深水座長)



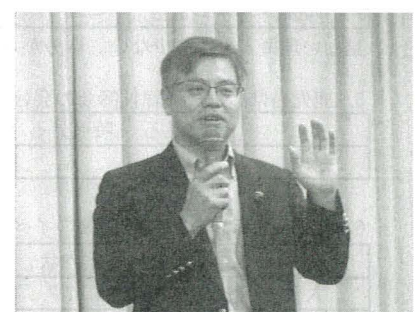
上甫木先生



テーマ討論(永山・市園座長)



新村技師



朝戸先生

第41回大隅地区研修会に関するアンケート調査結果

開催日 2017年9月30日 アンケート結果報告者 牧迫 佑紀
 放射線技師出席 28名 アンケート回収 19 回収率 67.86%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	計
人数	3	5	5	5	1	0	19

勤務地区	大隅地域	鹿児島地域	霧島・始良	北薩地域	南薩地域	未記入	計	男性	女性
人数	17	1	0	0	0	1	19	18	1

勤務年数	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	未記入	計
人数	4	3	3	5	3	1	19

1. 今回の研修会で満足された企画

	大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	評価できない	未記入	計
①会員報告	8	4	5	0	0	1	1	19
②話題提供	7	7	4	0	0	0	1	19
③フレッシュズセミナー	9	8	1	1	0	0	0	19
④テーマ討論	8	7	2	1	0	0	1	19
⑤教育講演	13	4	0	0	0	0	2	19

コメント もう少し掘り下げてやってほしい
 フレッシュズセミナーの実技指導がよかった

2. 研修会で希望するテーマ

検査

	検査方法	画像処理	読影関係	機器管理	その他
CT	6	9	9	3	0
MRI	9	1	4	3	0
透視検査	3	1	1	1	0
治療	0	0	0	0	0
RI	0	0	0	0	0
血管造影	0	0	0	0	0
一般撮影	5	1	3	2	0
超音波	3	0	2	0	0
(救急)	1	0	1	0	0

管理

医用画像	放射線被ばく管理	感染管理	医療安全	物品管理
1	4	2	2	0

コメント CT：造影CTの造影剤量、タイミング、解析画像の種類
 CT：CTC撮影法、CF後のCTC撮影時の注意点などを知りたい

3. 希望する講演(フレッシュズ・テーマ討論含む)及び推薦

希望講演内容 基礎的なセミナー、読影、CTに関する内容
 推薦講師：部署 塩川医院 山下さん

～技師会活動関係～

4. 鹿児島県診療放射線技師会のHPを読覧していますか

	よく見る	時々見る	あまり見ない	見ない	未記入
人数	2	7	5	3	1

見ない理由：情報が少ない、自分から見ようと思わない、知らなかった

5. 鹿児島県診療放射線技師会の会報を見ていますか

	よく見る	時々見る	あまり見ない	見ない	未記入
人数	6	6	3	2	1

6. 鹿児島県診療放射線技師会のイベントはどのようにして知りますか

	技師会HP	案内状	メーカー	会報	上司	友人	その他	未記入
人数	6	7	5	6	0	0	1	3

7. 研修会、技師会に対してのご意見・ご要望

・終了時刻は17時までにしてほしい

第35回 南薩地域研修会 終了報告

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域理事
野中 康博

平成29年9月30日（土）、県立薩南病院で第35回研修会が鹿児島県X線撮影技術研究会との合同開催で行われましたので報告します。

1. 開催日

開催日：平成29年9月30日（土）
時 間：14時30分～18時15分
場 所：県立薩南病院2F会議室（南さつま市加世田）

2. 研修会

【1】あいさつ

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎

- ・JART業務拡大に伴う統一講習会への受講について
- ・九州放射線技術学会が11月に鹿児島県での開催等

【2】メーカー講演

①『超軽量移動型デジタルX線撮影装置CALNEO AQROのご紹介』

富士Fメディカル 西詰 利之 様

②『SONIALVISION G4 アプリケーションの紹介』

島津製作所 金谷 章秀 様

【3】X線撮影技術研究会

「肩関節の極意～外傷あっても怖くない！実践したくなる肩関節～」

- ①肩関節疾患総論（座学） 今村総合病院 岩下 昌平 技師
- ②肩関節脱臼の病態と撮影法（座学） 今村総合病院 馬場 隆行 技師
- ③肩外傷と手術（上腕骨近位部骨折を中心に） 馬場隆行 技師、岩下昌平 技師
- ④ポジショニングの実際（ハンズオン：肩関節正面&軸位、立位&臥位スカプラY）

【4】伝達と閉会あいさつ

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 副会長 兼 南薩地域理事 野中 康博

- ・次回の研修会は平成30年2月、指宿地区での開催。超音波研究会との合同開催になります。
- ・原田学園の学生も参加いただきました。国試突破後は県内で勤務していただき、今度は研修会の会場で会いましょう。

3. 懇親会

「村田旅館」18時30分～ 会費制で8名の参加がありました。

4. 総括

今回の南薩研修会は初めてX線撮影技術研究会との合同開催でした。研究会から肩関節の撮影技術をテーマとし、座学とハンズオンでは基本撮影と応用、補助具を使ったポジショニングの実践など講演いただきました。運営、準備においては撮影室の移動や休憩時間の確保などプログラム順番や時間配分に配慮が必要かと感じました。また、ちょうどこの時期は原田学園の実習中とも重なり、受け入れ施設の協力により学生5名（すべて4年生）の出席もあり、今後も呼びかけていきたいと思えます。研修会会場と撮影室の提供、設営から片付けまで協力をいただいた県立薩南病院スタッフの方々に感謝いたします。

次回は平成30年2月、指宿地区で開催、超音波研究会との合同開催ですので、南薩らしい企画内容で開催に努めます。よろしく願いいたします。

5. 研修会出席者=40名（非会員3名、メーカー7名を含む）

J A R T 会 員

所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名
1 菊野病院	35101	野中康博	今村総合病院	28489	馬場隆行
2 県立薩南病院	29832	榮村仁史	ゆのもと記念病院	56071	藪田辰則
3 県立薩南病院	29835	上堀内義信	立神ハ温泉病院	43951	白澤清英
4 県立薩南病院	31052	久保ゆかり	ザンリオン病院	30295	前迫秀利
5 馬場病院	43950	佐多洋二	今給黎総合病院	45831	丸尾美由紀
6 馬場病院	28818	長野勝悟	菊野病院	47129	山崎慎治
7 徳久整形外科	26393	松野下直美	唐仁原内科クリニック	32928	江平俊雄
8 鹿児島医療技術専門学校	53660	東 幸浩	ザンリオン病院	56290	洲上祐基
9 加世田病院	42039	木佐貫克朗	県立薩南病院	53494	吉田行寿
10 今村総合病院	56205	岩下昌平	指宿浩然会病院	45030	園生岳志
11 久木田整形外科病院	24831	園田実郎			
12 鹿児島市立病院	22359	太田原美郎			
13 ウェルフェア九州病院	29836	前床久隆			
14 南洲メディカル	33998	川西義浩			
15 川辺生協病院	28815	藤橋 弘			
16					
17					
18	※上記一覧は当日の受付名簿順に掲載しています。				

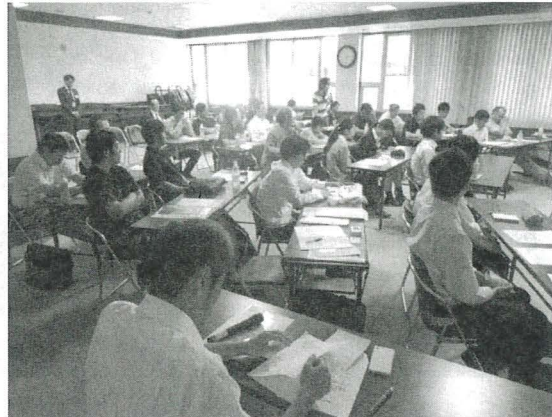
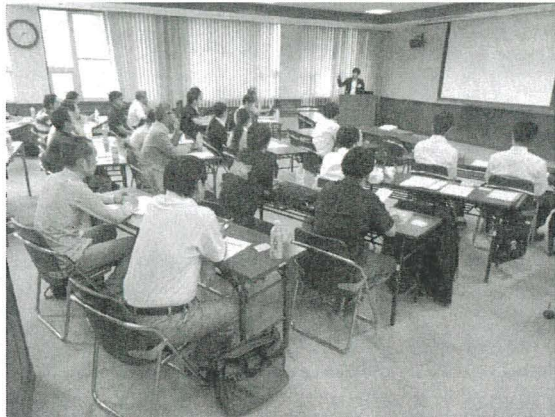
非 会 員

所属	職業等	氏名
有馬病院	診療放射線技師	番匠志尚
有馬病院	診療放射線技師	永井千博
指宿脳神経外科	診療放射線技師	鶴田博一
※上記3名からは参加費2,000円を徴収しています。		
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	長野翔太
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	田野尻舞衣
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	樽野華奈
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	久保 広
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	池田健太
※上記5名(学生)からは参加費徴収していません。		
富士フィルムメディカル	メーカー	西詰利之
富士フィルムメディカル	メーカー	松下靖彦
コニカミノルタ	メーカー	佐藤暢紀
コニカミノルタ	メーカー	松元航大
島津製作所	メーカー	徳村紀彦
島津製作所	メーカー	金谷章秀
日立メディコ	メーカー	木時 綾
※上記7名(メーカー)からは参加費徴収していません。		

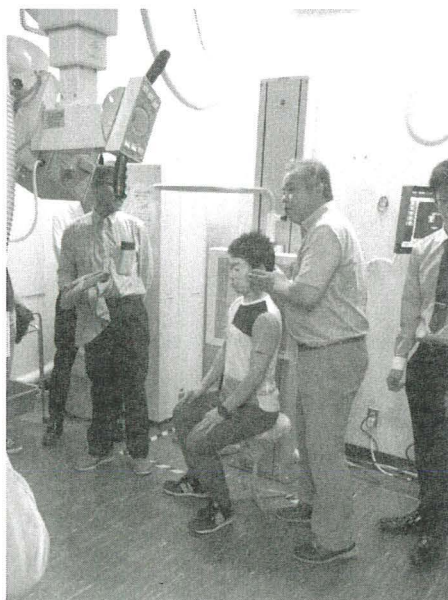
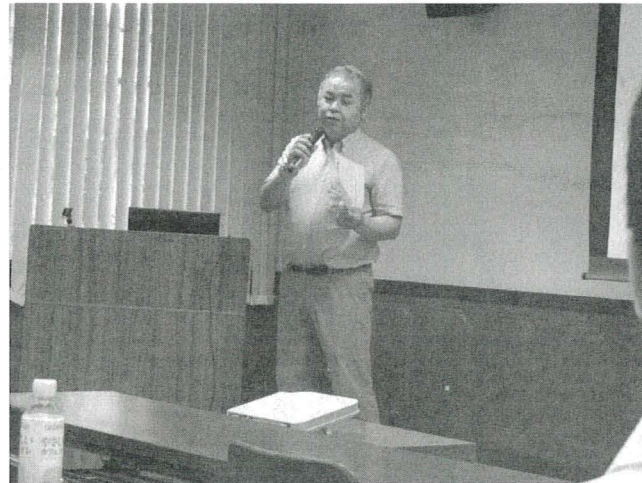
(平成29年10月 9日まとめ)

第35回南薩研修会写真集 (X撮技研との合同開催)

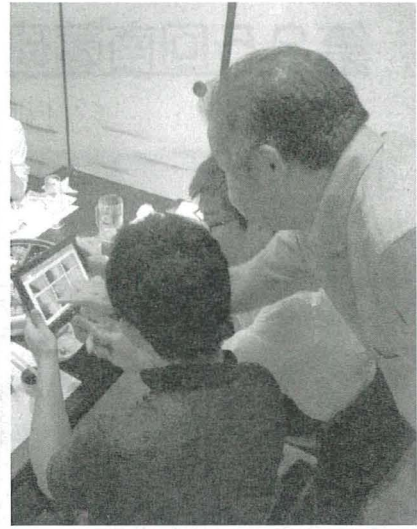
↓ 研修会会場 (会長挨拶と質疑の様子)



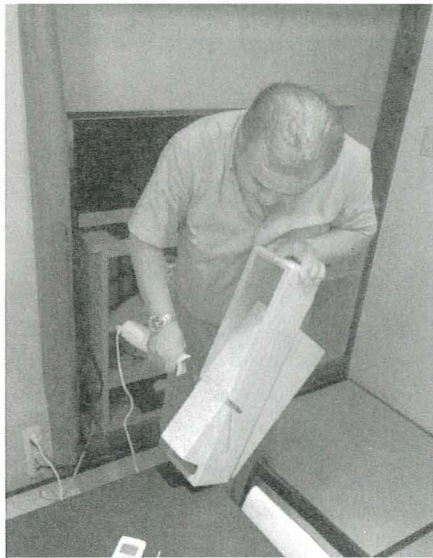
↓ 撮技研との初コラボ、後半は撮影室をお借りして実践



↓ 懇親会。今回は参加者が若干少なかったのですが…



↓ 撮技研の情熱は懇親会でも続く ↑



平成29年度北薩地域研修会・鹿児島MRI研究会 合同開催終了報告

(医) 杏林会 丸田病院 北薩地域理事
岡野 三男

平成29年10月28日、薩摩川内市医師会立市民病院にて北薩地域研修会・鹿児島MRI研究会を合同開催しました。参加者は58名でした。

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター恵雄史氏の司会進行にて研究発表は出水総合医療センター溝下育男座長にて3演題で済生会川内病院の宇都浩一郎氏からは『腹部MRIについて』大海クリニック森宥貴氏からは『CT被ばく実効線量把握の試み』、川内市医師会立市民病院の山下大介氏からは『横隔膜同期を用いたMRCPにおけるTrackerの位置の検討』について3人の演者の方々は忙しい日々の業務の中、綺麗なスライド作成にて発表でした。

誠に有難うございました。日頃から質の高い情報提供に努力されている熱心な取組の状況や創意工夫が伺えました。

鹿児島MRI 研究会は世話人代表の藤崎拓郎氏を座長にて最新情報提供・基礎講演・研究発表・教育講演とボリュームタツプリの研究会で多くの若手技師による参加もいただきました。

会場の川内市医師会立市民病院の大久保光男技師長さんをはじめ放射線部の皆様へ感謝いたします。

情報交換会は飲みニュケーションにて薩摩川内市で盛会な夜でした。

(医) 栄和会 寺田病院 春口 良久

平成29年度 北薩地域 地域理事・世話人

地域理事	:	岡野三男	(医) 杏林会 丸田病院
世話人 (総務)	:	兒玉康熙	済生会川内病院
世話人 (学術)	:	溝下育男	出水総合医療センター
世話人 (学術)	:	前田健一郎	川内市医師会立市民病院
世話人 (学術)	:	床波 隆幸	出水郡医師会広域医療センター
世話人 (編集)	:	村野和久	済生会川内病院
世話人 (広報)	:	春口良久	(医) 栄和会 寺田病院
世話人 (組織)	:	大迫 正美	県立北薩病院
世話人 (表彰)	:	松尾 幸弘	(医) 恵明会 整形外科松元病院
世話人 (福利厚生)	:	恵 雄史	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター

出席者

【技師】 47名

川内市医師会立市民病院

大久保光男、前田健一郎、秋葉裕史、中村晋輔、

沖中裕幸、山下大介、末永湧也、小川聖也

出水総合医療センター

溝下育男、中野孝二、元村重吉、平啓一朗

済生会川内病院

兒玉康熙、宇都浩一朗、岡元 拓、三園幸一

出水郡医師会広域医療センター

吉村伸一郎、中村祥吾、小林晃也、上 幸祐

寺田病院

春口良久、永野喜之、池下 愛

大海クリニック

荒武俊平、森宥貴、上堂地茉莉

クオラリハビリテーション病院

原口直也、吉松敬太

丸田病院

岡野三男

医師会立脳神経外科センター

恵 雄志

松元整形外科病院

松尾幸弘

県立北薩病院

田上浩幸

南洲整形外科病院

東 聡司

新門整形外科

山口 奨

森園病院

久保勇太

鹿児島市立病院

太田原美郎

鹿児島大学病院

藤崎拓郎、大塚洋和、岩永 崇、丹羽慶彰

今給黎総合病院

浮田啓一郎

パールランド病院

隈元 忍

昭南病院

熊谷繁夫、相川晃太

米盛病院

森川篤志

霧島医師会医療センター

福元 健

青雲会病院

佃 良平

【メーカー・学生】 11名

シーメンス（株）

斉木秀太郎、立石健太、青野 亮

富士フイルムメディカル（株）

内田和広、末永浩二郎

GEヘルスケア・ジャパン（株）

高橋昌宏

コニカミノルタジャパン（株）

佐藤暢紀

東芝メディカル（株）

室町昌吾

日立製作所（株）

石橋宏樹

鹿児島医療技術専門学校

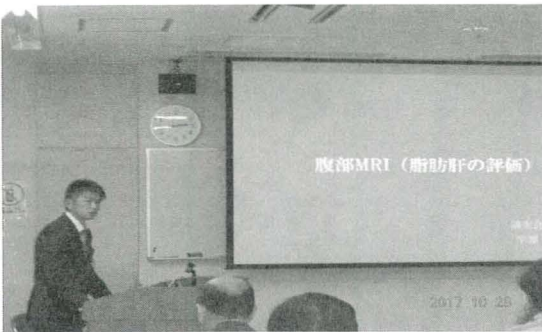
崎原 錠、石原広大



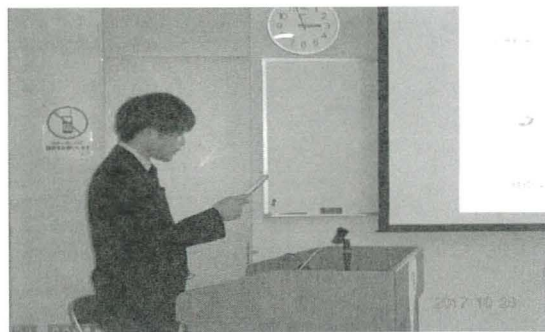
司会 恵氏



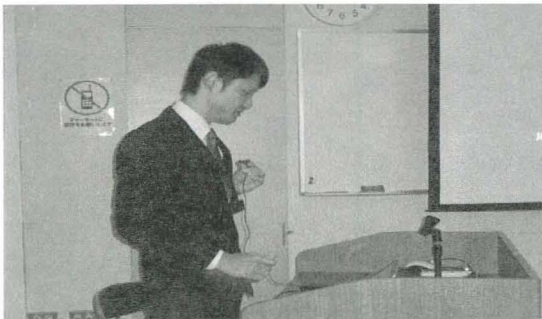
研究発表 溝下座長



研究発表① 宇都氏



研究発表② 森氏



研究発表③ 山下氏



質疑



会場



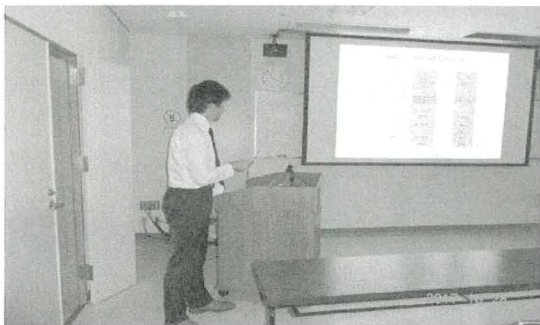
質疑



鹿児島 MRI 研究会 藤崎座長



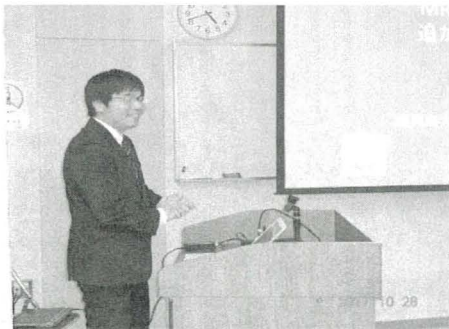
鹿児島 MRI 研究会 最新情報提供 斉木先生



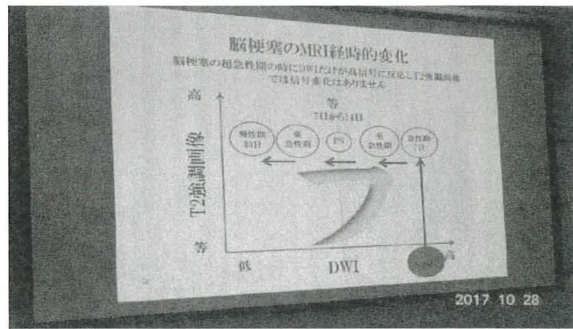
鹿児島 MRI 研究会 基礎講演 秋葉氏



鹿児島 MRI 研究会 研究発表 大塚氏



鹿児島 MRI 研究会 教育講演 岩永氏



スライド



情報交換会



情報交換会

レントゲン週間イベント活動報告

学術担当理事
浮田 啓一郎

10月22日（日）レントゲン週間イベントを山形屋裏のベルグ広場で開催しました。ピンクリボンinかごしまとの共催は去年に次いで2回目です。当日は台風21号の接近で開催が危ぶまれましたが、幸いにも日曜日の朝には雨や風の影響も少なくなり予定通りイベントを行うことができました。

イベントの内容としては骨密度測定、通常の超音波と鹿児島では珍しい自動超音波体験、レントゲン博士の業績や被ばくの啓発、臨床画像ギャラリーなどのパネル展示、医療被ばく相談、レントゲン週間の由来や我々の仕事内容そして鹿児島県診療放射線技師会の活動内容の紹介を織り交ぜたスライドショーを行いました。乳房超音波の体験では男性の方も一名受けられていたのには驚きました。

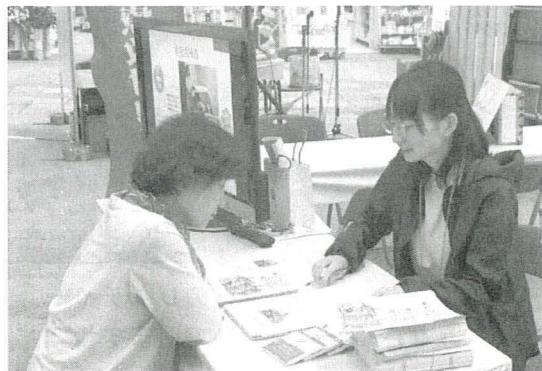
また今回は新しい試みとして『ちょっぴり放射線技師体験』と題して3Dワークステーション体験で立体的な画像を作ったり実際のマンモグラフィーの読み方をレクチャーしたりMRIの簡単な原理や画像の種類を説明し、磁場の強さと怖さ分かる動画をお見せしたり、コンブや減塩塩、カリ肥料、御影石などの放射線をGM管で測定してもらって放射線測定体験を行ったりと4つの体験型プログラムも用意しました。体験された皆様は一様に満足そうな表情でした。

台風の影響からか天文館は人通りもまばらで残念ながら来場者は少なかったのですが、お越しいただいた皆様には私たち鹿児島県診療放射線技師会や診療放射線技師のPRが出来た様に思います。

最期になりますが、せっかくの休日にもかかわらず、県内のいろいろな施設の皆様にご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。



骨密度測定
今年は37名と少なかったです



骨密度説明
食事や運動面までアドバイスしました



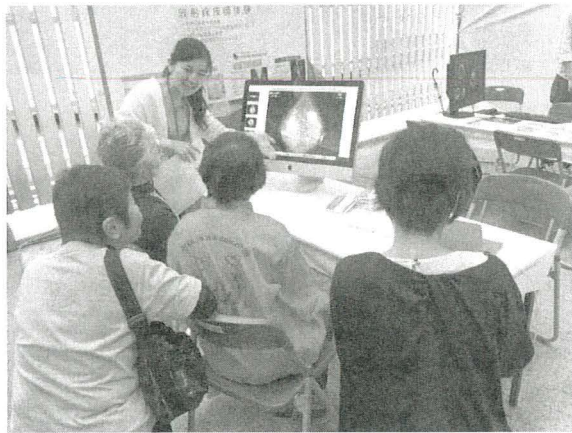
パネル展示（臨床画像ギャラリー）
スマホで撮影した御自分の病気の画像と比べている方もいらっしゃいました

レントゲン週間イベントスタッフ

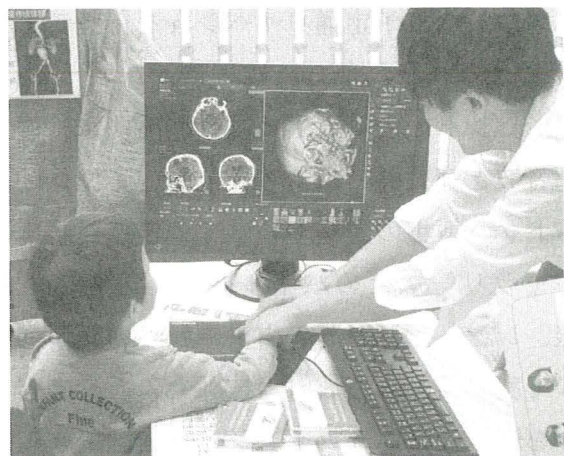
浮田啓一郎 川原美咲 中村亮也（今給黎総合病院）・島見末治（垂水中央病院）・松野下直美（徳久整形外科）・川西義浩（南州メディカル）・丹羽慶彰（鹿児島大学病院）・松山芳郎（南風病院）・熊野純泰 羽田里美（鹿児島医療センター）・東幸浩（鹿児島医療技術専門学校）・岡本瑠美 寺脇愛子（相良病院）・隈浩司 今田万里代 大河平美月 寺園詩穂（鹿児島市立病院） 以上 17名の皆さん



身近な放射線を測定してみよう
減塩塩やカリ肥料から出る放射線にびっくり



マンモグラフィの見方のレクチャー
みなさん熱心に聞いていますね



3D画像作成体験
骨が大好きな少年あらわる
将来は診療放射線技師!?



スタッフの集合写真
超音波担当のスタッフはこの時
まだ仕事を頑張っていました!!

第34回市民健康まつり活動報告

総務理事
渡邊 義治

平成29年11月19日は晴天に恵まれ鹿児島県診療放射線技師会として理事、応援スタッフ含めて14名の会員で対応を致しました。

昨年より3名少ない14名での運営であったが、各自が献身的な活動をしたことで、昨年と同様の内容をこなすことができた。役割分担や、各部門にリーダーを設定したことが奏功した。

理事 (6名)

岩元、奥西、吉村、坂下、松野下、渡邊

応援者 (8名)

藤坂 智史(鹿大)、宝満 美咲(相良)、下堂 蘭 絢香(相良)、白窪 知実(相良)
中原 武志(南風)、尾崎 隼(南風)、丸尾 美由紀(今給黎)、大野 優(まさる)(米盛)

第34回市民健康まつり 反省点・ご意見について

反省点・ご意見

測定数	318名	GE骨密度測定装置	1台
整理券	300名	アロカ骨密度測定装置	1台
放射線相談	40名	ビンセント(フジメ)	1台

内容：骨密度測定・放射線相談(パネル)での説明

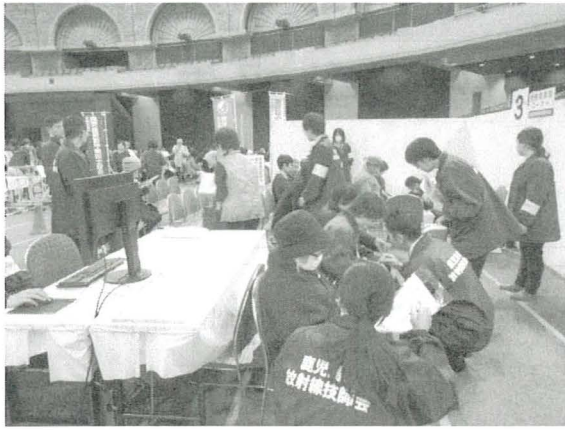
骨密度測定者 318名(整理券300名)の測定を実施し、検査結果の説明を行った。

反省点

1. 整理券を持たない方が測定できなかったため、お断りする場面が多数あった。
(40人ほど)
2. 展示への案内は比較的良好であったが、被ばく相談というよりは健康相談の方が目立っていた。

実行委員会への要望

1. 骨密度測定は整理券があったにも関わらず、隣のブースの方から「次は骨密度に行ってください」等の声掛けをされたため、整理券を持たない方が「隣でできるといわれた」とおっしゃる参加者が見られ、事情説明に時間がかかった。
2. 整理券をなくし、骨密度測定されたい方はできる限り対応していきたい。



骨密度測定結果やパネルの説明等行いました



骨密度測定の様子

第12回九州放射線医療技術大会開催報告

副会長 藤崎 拓郎

第12回九州放射線医療技術学術大会は、大会長を鹿児島大学病院の西郷康正氏、実行委員長を（公）鹿児島県診療放射線技師会会長でもあります鹿児島市立病院の太田原美郎氏として、平成29年11月18日（土）・19日（日）に、参加登録者786名（鹿児島県会員：228名、県外会員：558名）、発表演題数199演題、述べ843名の参加者数で盛会に開催されました。



大会のテーマは、「放射線技術学の粋を集めて～社会に役立てるために～」とし、特別講演を「診療放射線技師の大学院教育はなぜ必要か」と題して鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学分野の吉浦敬教授に、診断 / 治療機器の開発が進み、高度な医療機器を使いこなし検査や治療をより精度の高いものにするには、習熟した実施法だけでは不十分であり、その背景にある原理から理解し撮像条件の最適化や標準化の重要性を十分理解しておくことが前提であること、また、これらの社会教育や大学院教育が日常臨床の質を維持することに貢献できることを講演頂きました。

シンポジウムの基調講演は、「放射線技術学を社会に役立てるために、今、我々がなすべきこと」と題して熊本大学大学院生

命科学研究部の白石順二教授に、放射線技術学という学問の重要性と研究の楽しさ、そして、日々臨床業務に時間を費やす診療放射線技師が時間を作り、研究テーマを見つけて学会発表、論文投稿まで実現させるためになすべきことを考える機会になり、患者さんにとって質の高い放射線医療を提供するために臨床経験を活かし、科学的裏付けに基づく研究成果を報告し、ひとりでも多くの研究をする人の育成が必要であることを講演頂きました。

シンポジウムでは、大分大学の城生朋顕氏、宮崎大学の久家教幸氏、久留米大学の川田秀道氏、古賀総合病院の黒岩靖淳氏の4名の方に講演を頂きました。城生朋顕氏は、「身近なテーマで研究を始めるために必要なこと」と題して、得られた結果をまとめ仮説を立てる想像力、

周りの人たちと意見を交換するコミュニケーション能力、問題を解決しようという強い意志、多くの方の協力があって成し遂げられることを講演頂きました。久家教幸氏は、「学会で研究発表をするために必要なこと」と題して、環境、興味、モチベーション、疑問を持つこと等について分かりやすく講演頂きました。川田秀道氏は、「初めて論文を書くために必要なこと」と題して、8年間の日本放射線技術学会の副編集員長の経験から、審査の事例や指導された事例を基に論文の投稿者に向けて分かりやすく講演頂きました。黒岩靖淳氏は、「学位取得が更に活かされるために」と題して、学位取得が研究者としてのスタートであること、活動の場を広げて研究員としての活動、科研費の採択、共同研究についてご自分の経験を基に国際的研究の場を視野に入れた活動を講演頂きました。このシンポジウムにより多くの会員が聴講できる機会を設けられたことは、今学会の収穫になりました。

実行委員会企画Ⅰとして、昭和大学の加藤京一教授に「8年の軌跡からみた読影補助の現状と将来展望」と題して、画像診断等における読影の補助や放射線検査等に関する説明・相談を行うことが可能である旨を明確化し、診療放射線技師の活用を促すべきという厚生労働省の報告書にあるように自己研鑽を積み専門性を追求し患者のためになる役割を担うべきと講演頂きました。

実行委員企画Ⅱとして、放射線治療研究会による IGRT (Image guided radiotherapy) をテーマとした企画を立てて頂きました。

ランチョンセミナー1では、北九州市立医療センターの村上典子氏にお願いし「技術屋目線の MMG レポートー精度管理・ポジショニング・所見と病態ー」と題して、技師の作成したレポートが依頼する医師にとってなくてはならないレポートになっている自施設の状況と経験を講演頂きました。

ランチョンセミナー2では、NPO 法人ささえあい医療人権センター COML の山口育子理事長にお願いし「患者と医療者のコミュニケーションを考える」と題して、本来、患者の権利であるインフォームド・コンセントについて医療者が必要と考える情報を一方的に提供するものになっている現状と情報社会の中で正しい情報を得る必要性についても講演頂きました。



ランチョンセミナー3では、熊本大学大学院生命科学研究部・医用工学の船間芳憲教授にお願いし「Dual energy CT が切り開く新たな CT について紐解く」と題して Dual energy CT を取り巻く問題や動向について概説して頂き、新たな臨床への活用などについて講演頂きました。

ランチョンセミナー4では、IBM の川口克己ワトソンヘルス事業開発部長にお願いし「医療と AI ～ AI で医療はどのように変わるのか～」と題して、人工知

能について、IBM Watson への取り組み、Watson の医療・医薬品への応用について講演頂きました。

市民公開講座は、放射線治療専門医として、メディポリス国際陽子線治療センターの有村健先生に、がん放射線療法看護認定として、鹿児島市立病院の月野佳代先生に、放射線治療専門放射線技師として、鹿児島大学病院の豊田雅彦氏に、「ここまで来たがん治療～粒子線治療、高エネルギー X 線治療の最前線～」と題して、それぞれの専門家の立場から、実際の治療現場の声として、市民の皆さんへわかりやすく講演があった、鹿児島市「市民のひろば」に掲載したことや、鹿児島県 / 鹿児島市の後援を頂いたことから、案内が周知され、過去にない一般の方の参加がありました。アンケートの結果からも、鹿児島市民の皆さまに、放射線治療で我々診療放射線技師が重要な役割を担っていることや、このような学術大会を開催して、我々診療放射線技師が日々研鑽していることを知って頂く絶好の機会となりました。

次大会、第 13 回九州放射線医療技術学術大会は、沖縄県那覇市で平成 30 年 11 月 10 日（土）・11 日（日）に開催されます、多くの会員の皆さまの参加を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、第 12 回九州放射線医療技術学術大会（鹿児島）への参加やサポート協力して下さいました会員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

(公社) 鹿児島県放射線技師会 70周年記念式典・祝賀会

平成30年1月21日(日)10:00開会 孔雀の間
パレスイン鹿児島

式典次第

(序 奏) 開 場

開 式

1. 開 式 の 辞 (公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 副会長 藤崎 拓郎)
2. 式 辞 (公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会 長 太田原美郎)
3. 来 賓 祝 辞
 - ① 鹿児島県知事 様 (鹿児島県知事 三反園訓様)
 - ② 鹿児島市長 様 (メッセージのみ副会長 野中 康博が代読)
 - ③ 鹿児島県医師会 様 (会長 池田 琢哉 様)
 - ④ 日本診療放射線技師会 様 (副会長 佐野 幹夫様)
4. 来 賓 紹 介
5. 祝電披露
6. 「鹿児島県放射線技師会70年のあゆみ」 (元会長 池田 睦)
7. 閉式の辞 (社団法人鹿児島県放射線技師会 副会長 藤崎 拓郎)

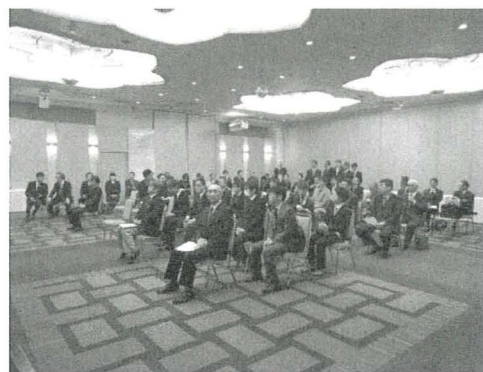
閉 式

創立70周年記念祝賀会

平成30年1月21日(日)12:00開宴 白鷺の間

1. 開 会 の 辞 (公益社団法人鹿児島県放射線技師会 副会長 野中 康博)
2. 開会の挨拶 (公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原美郎)
3. 祝 辞
 - ① 鹿児島県看護協会 (会長 田畑 千穂子 様)
4. 来 賓 紹 介
5. 乾 杯 (村山 光生氏)
6. 万 歳 三 唱 (大久保 光男氏)
7. 閉 会 の 辞 (公益社団法人鹿児島県放射線技師会 副会長 野中 康博)

70周年記念式典



祝賀会



開式の辞 野中副会長



開会の挨拶 太田原会長



来賓 池田県医師会長



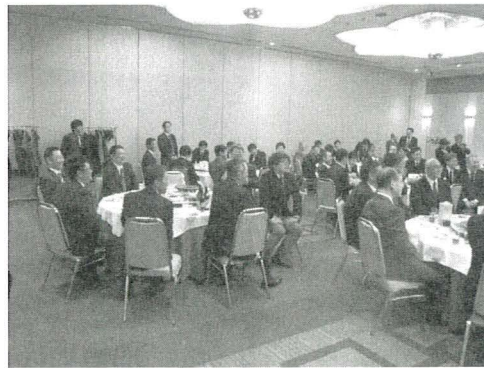
祝辞 田畑県看護協会会長



乾杯 富吉司様



司会 新村前副会長



万歳三唱 大久保光男様

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 創立 70 周年記念式典

「技師会 70 年の足跡」要旨

監事 池田 睦

●創立前史

(～昭和 22 年 10 月)

- ・ 明治 28 年 レントゲン エックス線発見
- ・ 明治 31 年 キュリー夫妻ラジウム発見
- ・ 明治 42 年 国産第 1 号医療用 X 線装置開発
- ・ 大正 10 年 鹿児島県にエックス線技師誕生 宇都紋次郎氏県立鹿児島病院エックス線技師
就任
- ・ 昭和 18 年 鹿児島県結核予防会主催 エックス線技師養成講習会開催

●技師会 70 年の足跡

(昭和 22 年 11 月～平成 29 年)

- ・ 昭和 22 年 11 月 鹿児島県エックス線師会創立 会員数 12～13 名
- ・ 昭和 26 年 3 月 結核予防法制定
- ・ 昭和 26 年 6 月 診療エックス線技師法制定
- ・ 昭和 27 年 11 月 第 1 回診療エックス線技師特例試験
- ・ 昭和 28 年 7 月 鹿児島県エックス線師会総会開催 出席者 35 名 会場：鹿児島市立病院)
- ・ 昭和 28 年 7 月 鹿児島県エックス線技師会 会報第 1 号発行
- ・ 昭和 32 年 6 月 放射線障害防止法制定
- ・ 昭和 37 年 11 月 第 16 回(社)日本エックス線技師会並びに日本放射線技術学会九州地方会開催
(会場：鹿児島大学学生会館)
- ・ 昭和 39 年 9 月 (社)日本エックス線技師会主催技師法改正に備えた診療放射線学講習会開催
- ・ 昭和 41 年 4 月

第 22 回(社)日本放射線技術学会総会
開催 (会場：鹿児島中央公民館)

会員数の少ない小さな組織にとって、
大きな全国学術大会開催であった。



- ・昭和 42 年 (社)日本エックス線技師会主催 診療放射線技師国家試験 受験資格取得講習会開催
- ・昭和 43 年 9 月 診療エックス線技師法改正 診療放射線技師誕生
- ・昭和 43 年 11 月 第 1 回診療放射線技師国家試験 (会場：熊本商科大学)
- ・昭和 44 年 5 月 鹿児島県エックス線技師会を鹿児島県放射線技師会に名称変更
- ・昭和 46 年 10 月 第 23 回(社)日本放射線技師会並びに日本放射線技術学会九州地方会開催 (会場：鹿児島市医師会館)

・昭和 54 年 9 月
(社)日本放射線技師会 教育会館落成。全国の会員一人当たり 2 万円の出資により建設された。35 年前の 2 万円は大金だった。



・昭和 55 年 6 月
第 31 回(社)日本放射線技師会並びに日本放射線技術学会九州地方会開催 (会場：鹿児島市立病院)

- ・昭和 58 年 6 月 (社)日本放射線技術学会鹿児島支部と鹿児島県放射線技師会が分離運営となる。
- ・昭和 58 年 11 月 診療放射線技師法及び診エックス線技師法の一部改正 職種一本化
- ・昭和 60 年 4 月 日本放射線技術学会全国総会開催 市民文化ホール、サンロイヤルホテル
- ・昭和 63 年 11 月 第 1 回大隅地域研修会 (会場：県立鹿屋病院)
- 12 月 第 1 回北薩地域研修会 (会場：いむた池いこいの村)

・昭和 62 年 8 月 鹿児島県放射線技師会
第 1 回あなたのための放射線展
(会場：鹿児島三越デパート)

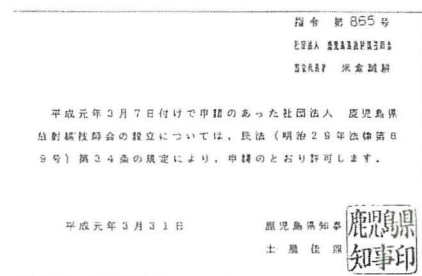
NHK, KKB が取材に訪れ放射線展の開催模様をテレビ放映。南日本新聞にも放射線展の記事が掲載。
1, 100 名余りの県民の方々が訪れた。



・平成 元 年 3 月 社団法人鹿児島県放射線技師会設立
42 年間の苦難の時代を乗り越え、平成元年 3 月、社会的存在が認められた社団法人となり、名実共にゆるぎない医療専門職能団体となった。

- ・平成 3 年 3 月 臨床実習指導者養成講習会 (会場：都城市)
- ・平成 3 年 4 月 鈴鹿医療科学技術大学開校

会員の拠出金により、技師会自らの手で創立した大学であり、全国で 2 番目となるものでした。



- ・平成6年 6月 「(社)鹿児島県放射線技師会45年記念誌 並びに
日本放射線技術学会鹿児島支部のあゆみ」 発刊

- ・平成8年11月 平成8年度九州放射線技師学術
大会開催

(会場：JA鹿児島県会館)

- ・平成9年11月 (社)鹿児島県放射線技師会
創設50周年記念式典

(会場：グリーンホテル)



- ・平成11年 3月
(社)鹿児島県放射線技師会 事務所落
成記念式典 (会場：ステーションホテ
ル ニュー鹿児島)



- ・平成15～16年 (社)日本放射線技師会生涯学習ADセミナー開催 (11日間)
「医療安全学」、「看護学」、「医療学」、「救急医療学」
(会場：鹿児島大学病院、アステム社5階ホール)

- ・平成16年 6月 (社)鹿児島県放射線技師会 ホームページ開設

- ・平成17年 7月 診療放射線技師法一部改正放射線取扱の拡大
1) 陽子線及び重イオン線 2) 中性子線

- ・平成17年11月 (社)鹿児島県放射線技師会鹿児島県原子力防災訓練参加

- ・平成18年 4月 鹿児島市夜間急病センター 放射線業務開始

- ・平成18年10月 (社)鹿児島県放射線技師会 レントゲン週間イベント開催
(会場：山形屋文化ホール)

市民公開講座・放射線展 無料乳がん検診・骨密度測定

- ・平成20年 2月 (社)鹿児島県放射線技師会創立60周年記念式典・祝賀会
(会場：ホテルパレスイン鹿児島)

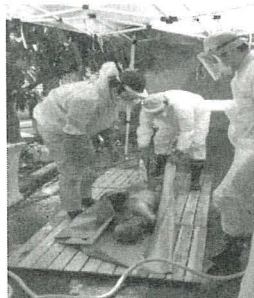
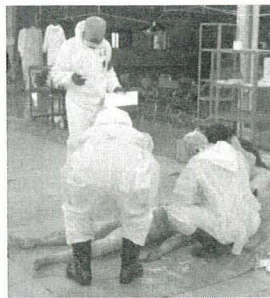
- ・平成21年 6月 第25回放射線技師総合学術大会並びに
第12回東アジア学術交流大会開催
(会場：鹿児島県民交流センター)

- ・平成21年6月4日から6日までの3日間、第25回放射線技師
総合学術大会をかごしま県民交流センターにおいて韓国、台湾
を含め1,197名が出席して開催。



・平成 23 年 5 月

原子力災害派事業 検案前のご遺体の放射線サーベイ。県技師会より 2 名の診療放射線技師の派遣
鹿兒島大学病院 西郷技師
今給黎総合病院 浮田技師
5 日間で合計 23 名のご遺体の検案前サーベイを行った。



・平成 23 年 10 月 定款改定臨時総会 (WEB 総会)

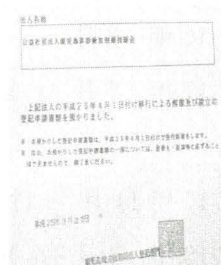
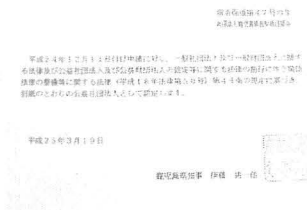
1. 鹿兒島支部・南薩支部 (鹿兒島大学病院鶴陵会館)
2. 北薩支部 (阿久根市民病院)
3. 霧島・始良支部 (霧島市立医師会医療センター)
4. 大隅支部 (県民健康プラザ鹿屋医療センター)
4. 大島支部 (県立大島病院)



会場を 5 つに分けて、各会場をリアルタイムに進行できる WEB 会議を開催し、定款の改定を審議し公益社団法人にふさわしい定款に改定した。

・平成 25 年 3 月 19 日 公益社団法人県知事認可

・平成 25 年 4 月 1 日 公益社団法人鹿兒島県診療放射線技師会創立



・平成 23 年 11 月

第 6 回九州放射線医療技術 学術大会
(会場：鹿兒島県文化センター)

定款改定の臨時総会 1 ヶ月後には第 6 回の九州放射線医療技術学術大会の九州地方会を開催した。技師会の理事の方々は定款改定と学術大会の両方の準備でこの平成 23 年度は大変な時期を乗り越えた。



・平成 25 年 1 月・8 月 静脈注射 (針刺しは除く) 講習会開催。

診療放射線技師の業務拡大の一環である抜針講習会が開催された。



- ・平成 26 年 6 月 公益社団法人 移行 1 周年記念式典・祝賀会
(会場：パレスイン鹿児島)



- ・平成 27 年 9 月 九州地域放射線技師研修会
診療放射線技師がやるべき読影補助について
～各モダリティーにおける読影補助の実際～
参加者 106 名 (うち県内参加者 65 名)。九州 3 県 (福岡、熊本、鹿児島) で開催。3 年に 1 度鹿児島県で開催する。



- ・平成 28 年 5 月 22 日 第 13 回フレッシュャーズセミナー開催
(会場：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟)
- ・平成 28 年 6 月 平成 28 年度鹿児島県診療放射線技師会春季学術大会
(会場：鹿児島大学医学部保健学科共通講義棟)
- ・平成 28 年 7 月 平成 28 年度リーダー研修会
(会場：ホテルタイセイアネックス)
- ・平成 28 年 10 月 23 日 レントゲン週間イベント
ピンクリボンと共催 (会場：かみまちふれあい広場)
- ・平成 29 年 10 月 28 日 北薩地域研修会・鹿児島 MRI 研究会合同開催
(会場：川内市医師会立市民病院)

●鹿児島県の女性技師の会

発足：H20 年 7 月 26 日 第 1 回「南薩地区女性技師の会」

この女性の会は当初、南薩地域から始まっている。南薩地域の理事さんの「女性だけで集まってみてはどう？」という発言がきっかけで、まず、南薩地域の女性技師の集いを立ち上げた。女性技師の交流・親睦・情報交換、女性のライフステージと放射線技師職の確立等をテーマとした。その 3 年後に全国の女性技師のサミットが開催された。



- ・ H23 年度：JART 主催「診療放射線技師女性サミット」
開催
- ・ H24 年度～
鹿児島県診療放射線技師会「女性の集い」年 1 回開催
- ・ H28 年度～
「女性の集い」⇒「さくら R T」に名称変更
- ・平成 27 年 8 月 第 2 回 FRT 九州 研修会
参加者：146 名



● 会員数の動向

福岡は会員数が1600人超で推移している。その他の県は400人から500人前後でこの10年間推移している。毎年養成機関より数多くの診療放射線技師が誕生しているが技師会入会者数が増えていない。

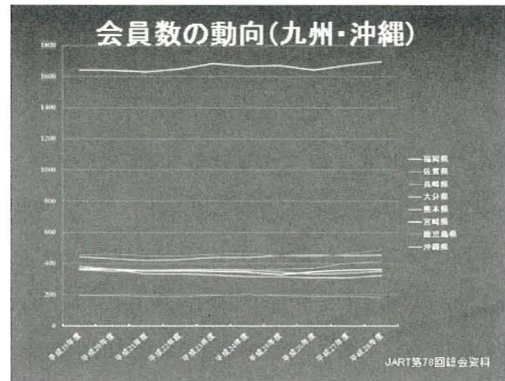
鹿児島県の放射線技師数

日本診療放射線技師会員数：489人

(H29/3/31 現在)

・ 病院勤務：約650人 ・ 診療所勤務：約180人

合計：約820人 ・ 組織率：約59%



● 診療放射線技師の教育の変遷

レントゲン技手、技師 → 徒弟教育

昭和26年 診療エックス線技師法制定

教育制度創設

診療エックス線技師 → 専門学校2

昭和43年 診療放射線技師 → 専門学校3年

短大3年

平成3年 診療放射線技師 → 専門学校3年

短大3年

大学2校

● 現在の教育機関

国立大学 11 大学

公立大学 3 大学

私立大学 18 大学

短期大学 (私立) 1 大学

専門学校 12 校

国公立大学 32 大学 (1800人)

教育機関の70%以上は大学教育機関



大学院

● 歴代会長一覧

鹿児島県放射線技師会は、診療エックス線技師法制定以前に創立され、その時代時代におけるリーダーのご尽力に支えられ70年という歳月をかけて今日に至り、医療専門職能団体として確固たる地位を築いています。

歴史の一齣一こまに大きな変革が記され、内憂外患を克服してきた道のり(道程)は、月並みな言葉では言い尽くせないものがあります。この中では半数の方がすでにお亡くなりになっておりますが、ここまで育てていただきました歴代会長はじめ歴代役員、諸先輩の方々の労苦に対し心からの敬意を表する次第であります。

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
歴代会長名簿一覧

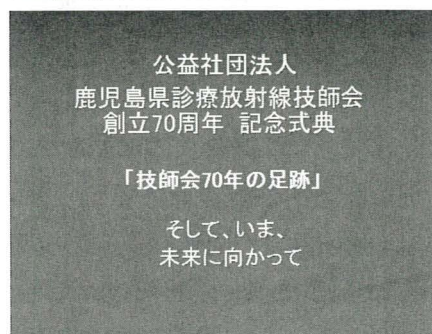
初代 中島 藤一郎	第11代 米倉 誠耕
第2代 湯窪 一雄	第12代 湯ノ口 武司
第3代 稲葉 松尾	第13代 村山 光生
第4代 税所 篤正	第14代 岡田 淳徳
第5代 前村 国夫	第15代 鮫嶋 宗俊
第6代 湯窪 一雄	第16代 西本 孝市
第7代 有馬 春男	第17代 池田 睦
第8代 下野 哲勇	第18代 松本 俊也
第9代 福屋 哲夫	第19代 太田原美郎
第10代 黒岩 保雄	(現会長)

●終わりに

鹿児島県診療放射線技師会創立70年の足跡を見てきました。これらの記録以外にも各年代において技師会事業は多々執り行われていますが、紙面の都合で全ての事業は網羅できませんでした事をお詫びします。

創立されて70年のその折々に、技師会運営において幾多の困難も数多くあったでしょうが、執行部、並びに先輩諸氏、そして会員の協力により大きな発展をなし得てきました。

我々は先達の苦難の道を忘れる事なく、この70年の歴史を貴重な踏み台として、国民の医療福祉に貢献できる診療放射線技師職を目指し、今後もさらなる発展を遂げなければなりません。



厚生労働大臣
加藤 勝 信 様

鹿児島県診療放射線技師会
会長 太田 原 美 郎

柔道整復師法の一部を改正する法律案に対する反対表明決議について

鹿児島県診療放射線技師会(以下「本会」とい。)は、平成30年1月に開催された第4回理事会において、藤巻健史参議院議員から提出された「第193回国会参第110号柔道整復師法を改正する法律案」に対して、反対表明を決議いたしました。

国家資格である診療放射線技師の엑스線照射業務は医師又は歯科医師の具体的な指示を受けて、放射線を人体に照射する行為である当該行為は、엑스線を含む放射線が人体に危害を及ぼす性質を有することから、これを人体に照射する行為は侵襲性が極めて高い「医行為」(医師法第十七条)であると規定されており、診療放射線技師法第二十四条により医師、歯科医師または診療放射線技師でなければ、診療放射線技師法第二条第二項に規定する業をしてはならないと定められております。

従って、本会は国民の命と健康を守り、科学的根拠に基づいた安全な医療を提供すると共に、品質の高い放射線医療技術を提供するために、柔道整復師法の一部改正による柔道整復師による엑스線照射業務に対して、断固反対の決議をしたことを表明いたします。

第一九三回

参第一一〇号

柔道整復師法の一部を改正する法律案

柔道整復師法(昭和四十五年法律第十九号)の一部を次のように改正する。

目次中「第三十二条」を「第三十三条」に改める。

第十二条第一項中「衛生学」の下に「(放射線衛生学を含む。)、エックス線撮影技術学、放射線安全管理学」を加える。

第十七条の二を第十七条の四とし、第十七条の次に次の二条を加える。

(エックス線の照射)

第十七条の二 柔道整復師は、第二条第一項に規定する業務のほか、施術所において前条ただし書の応急手当をしようとする場合において、脱臼又は骨折が疑われる者のその患部(撮影のためのエックス線の照射により放射線障害を生じさせるおそれが少ないものとして厚生労働省令で定める部位にあるものに限る。)の状態の確認のため、当該患部に、撮影のためのエックス線の照射(当該患部へのエックス線の照射により放射線障害を生じさせるおそれが少ないものとして厚生労働省令で定める基準に適合したエックス線装置によるものに限る。)をすることを業として行うことができる。

2 柔道整復師は、前項の規定によりエックス線の照射をしたときは、厚生労働省令で定めるところにより、その照射に関する事項を記録し、これを保存しなければならない。

(医師による診療)

第十七条の三 柔道整復師は、脱臼又は骨折が疑われる者に、第二十三条の医師その他の医師による診療を求めさせなければならない。この場合において、前条第一項の規定によりエックス線の照射による撮影をしたときは、その診療をする医師にその画像が提供されるようにしなければならない。

第二十三条を次のように改める。

(連携する医師等)

第二十三条 施術所の開設者は、厚生労働省令で定めるところにより、脱臼又は骨折が疑われる者に対応するため連携する医師及び病院又は診療所を定めておかななければならない。

第二十四条第一項中第四号を第五号とし、第三号の次に次の一号を加える。

四 前条の医師の氏名又は病院若しくは診療所の名称

第二十九条第一項第二号中「第十七条の二」を「第十七条の四」に改める。

第三十二条の次に次の一条を加える。

第三十三条 第十七条の二第二項の規定に違反した者は、二十万円以下の過料に処する。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、平成三十一年四月一日から施行する。ただし、附則第五項の規定は、公布の日から施行する。

(エックス線の照射に関する経過措置)

2 この法律の施行前に行われた柔道整復師国家試験を受けてこれに合格したことにより、又は次項の規定により柔道整復師国家試験を受けてこれに合格したことにより、柔道整復師の免許を受けた者（厚生労働省令で定めるところにより厚生労働大臣が行うこの法律による改正後の柔道整復師法（同項において「新法」という。）第十七条の二第一項のエックス線の照射をする上で必要な知識及び技能に関する講習を受け、及びその修了試験に合格し、又は診療放射線技師国家試験に合格した者であって、柔道整復師名簿にその旨の登録を受けたものを除く。）については、同条の規定は、適用しない。

(柔道整復師国家試験の受験資格に関する経過措置)

3 新法第十二条第一項の規定にかかわらず、この法律の施行の際現にこの法律による改正前の柔道整復師法第十二条第一項の規定による知識及び技能の修得を終えている者並びにこの法律の施行の際現に同項の規定により知識及び技能を修得中の者であってこの法律の施行後にその修得を終えたもの（新法第十二条第一項の規定による知識及び技能の修得を終えた者を除く。）は、厚生労働省令で定めるところにより、柔道整復師国家試験を受けることができる。

(罰則に関する経過措置)

4 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

(政令への委任)

5 前三項に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置は、政令で定める。

理 由

柔道整復師が、脱臼又は骨折が疑われる者に応急手当をしようとする場合において、その患部に、一定の条件の下に、撮影のためのエックス線の照射をすることを業として行うことができるようにする必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 平成29年度 第1回 常務理事会議事録（抄）

日時：平成29年9月27日（水）19時00分～20時40分

場所：鹿児島市立病院 中2会議室

出席理事：太田原美郎 藤崎拓郎 藤崎誠 浮田啓一郎 松野下直美 東幸浩 奥西達也
吉村洋一 伊藤大助 岩元博史 林美奈 宇治野喜宣

出席監事：池田睦監事

欠席理事・監事：野中康博 西憲文 中山龍一 渡邊義治 宮寄信監事

議長：太田原美郎

議事録署名人：太田原美郎 池田睦

開会：太田原会長より常務理事の過半数以上が出席しており、第1回常務理事会の開催が宣言された。

1. 報告

(1) 公益財団法人県監査報告

総務理事、財務理事より鹿児島県からの監査報告がされた。口頭で指導された事項も含め概ね適正と認められ、今後も適正な運営に努めるようにとのことであった。

(2) 平成29年度事業の進捗状況

① レントゲン週間イベント

浮田理事より10月22日日曜日行われるピンクリボンとの共催で行われるレントゲン展の進捗状況が話された。骨密度測定、放射線技師の仕事紹介等行う予定。

② 市民健康まつり

渡邊理事欠席のため岩元理事より報告がなされた。11月19日日曜日。開催は10時～15時30分予定。骨密度測定、VINCENTを借りて展示説明、操作など行う予定。

③ 業務拡大に伴う統一講習会

太田原会長より鹿児島県の受講率が低いので県の技師会を挙げて、統一講習会に取り組んでいきたいと報告された。

④ 技師会設立70周年事業

岩元理事より平成30年1月21日の日曜日記念式典が午前10時から、祝賀会12時からの予定。場所はパレスイン鹿児島。式典と祝賀会を合わせて60名程度を予定。会員には往復はがきをだして11月中に集約する予定。会費等は今後決めていくと報告された。

⑤第 12 回九州放射線医療技術学術大会「市民公開講座」

藤崎(拓)理事より 11 月 19 日（日）テーマ「ここまで来たがん治療 ～粒子線治療、高エネルギー X 線治療の最前線」

⑥夜間急病センター新規勤務者について

渡邊理事欠席のため岩元理事より報告がなされた。夜間急病センターの新規勤務者 1 名について、常務理事会では承認をとれたが地域理事からの承認がまだであるので、メールをもって承認を受けることになった。また新規登録者が受ける研修の一次監督者・二次監督者の決定について再度議論がなされ理事の中から選出することとなった。

2. 議題

(1) 災害支援診療放射線技師研修会

太田原会長より平成 29 年 12 月 23～24 日に行われる災害支援診療放射線技師研修会について説明がなされ、鹿児島県代表として伊藤理事が選出された。また鹿児島県放射線技師会のサーベイチームを今後作っていくことになった。

(2) 被ばく認定施設および被ばく相談員

太田原会長より鹿児島県には現在、医療被ばく低減認定施設が一施設、放射線被ばく相談員認定者が 1 名しかいないと報告がされた。今後数を増やしていくように会長から要請があった。

(3) 診療放射線技師業務に関する調査

太田原会長より毎年、日本放射線技師会が行う業務実態調査について、返却率が悪いのできちんと回答を出すように要請された。

(4) 研究会への講師料支出について

奥西理事より研究会の講師料について現在一単位 1.5 時間で一万円という決まりになっているとの現状報告がされた。今後旅費規程規約を見直すことが検討された。

(5) 研究会の在り方

太田原会長より研究会とメーカーの共催のありかたについて提案がなされ議論された。公益社団法人としてどうあるべきか確認を取り、今後整えていく予定。

(6) 功労表彰および永年勤続表彰について

太田原会長より永年勤続表彰 50 年、30 年の候補者について推薦が促された。

(7) 緊急連絡網について

太田原会長より緊急災害時や日本放射線技師会から急な連絡などに備え、放射線技師の緊急連絡網の必要性について提案がなされ、整備することになった。

(8) その他

藤崎(拓)理事より、平成 30 年度の九州地域研修会が鹿児島で行われる旨が話された。会場・日時を今後決めていく予定。

他に検討事項はなく常務理事会が終了となった。

開会：太田原会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成 29 年 10 月 11 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会 長 太 田 原 美 郎

編集後記

日本放射線技師会、昭和22年7月。4か月後の昭和22年11月、鹿児島県放射線技師会が設立されています。鹿児島県放射線技師会は70周年を迎えました。時代はアナログからデジタルへ移行を終えようとしつつありそうです。一昔前までCT画像であっても数秒かけて1スライス得ていました。1枚の写真を扱う仕事には変わりありませんが、現在の画像処理可能な大量データを扱うにも1枚の写真であることに変わりはないはずだと。改めて一昔前のことを振り返って思いました。

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と2名で実施する予定です。法令で規定してある測定はX線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

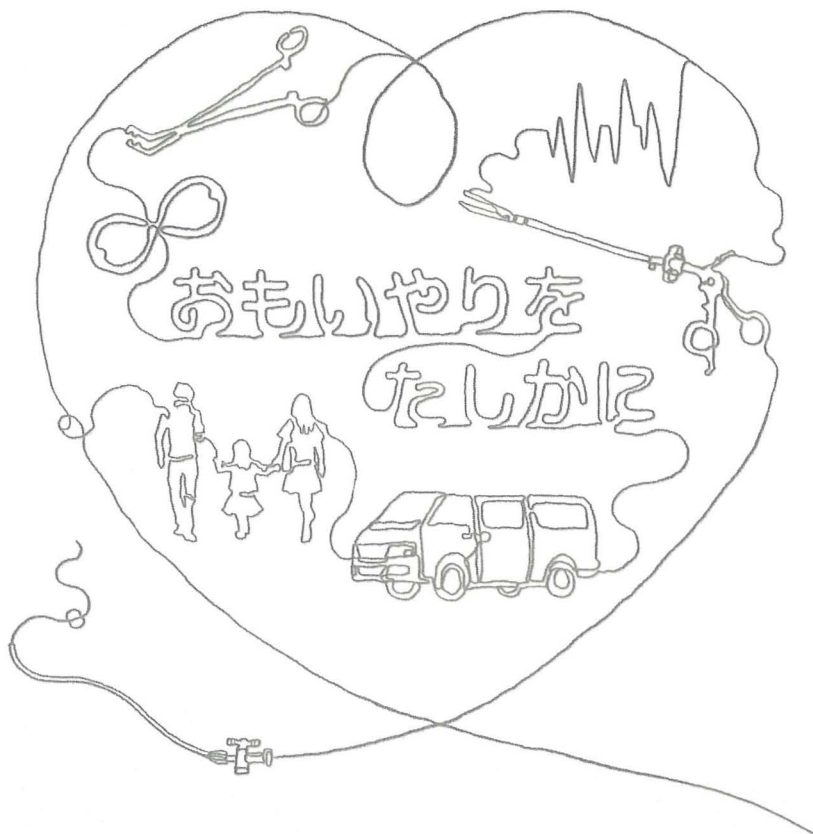
料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料金1方向5千円、会員がいない施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円となっています。2回目以降継続される場合は、測定料金が5%（最大20%まで）ずつ安くなります。

測定希望の施設がありましたら、見積等をご提示しますので、
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局 鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門
放射線管理士部会 担当 藤崎まで、下記電話、メールにてご紹介、お問い合わせ下さい。

☎099-275-5664 ✉'kartgakujutu@yahoo.jp

広告掲載一覧（順不同）

会 社 名	郵便番号	住 所
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル3F
富士フイルムRIファーマ株式会社 福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル
エーザイ株式会社 鹿児島コミュニケーションオフィス	890-0053	鹿児島市中央町12-2 明治安田生命鹿児島中央町ビル6F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
フィリップスエレクトロニクスジャパン 鹿児島営業所	890-0065	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル7F
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0063	鹿児島市鴨池2丁目15-2
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル1F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
株式会社ドクターネット	105-0012	東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル12階
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
株式会社千代田テクノル 福岡営業所	812-0038	福岡市博多区祇園町1番28号



- 医療用品
- 医療機器
- 光学機器
- 理化学機器
- 衛生用品
- 検査試薬
- 機器



HACHIGOU
MEDICAL
INSTRUMENT

株式会社
八郷医療器

おもいやりをたしかに

鹿児島市小松原一丁目二十九番五号
TEL.(099)-268-0010
FAX.(099)-267-7790

イオンチェンバの精度と
半導体の手軽さをこの1台に

ACCU-GOLD+

ACCU-GOLD+はAGDM+型デジタイザーを、
パソコンとのUSB接続で使用できる
マルチファンクションX線アナライザです。
1台でイオンチェンバ、半導体検出器、
mAsセンサーを使用でき、専用マルチセンサーでは
線量・線量率・kVp・照射時間・半価層・ろ過の
同時測定にも対応します。

豊富なセンサーラインナップで、
様々なモダリティ/アプリケーションに対応いたします。
また別売チェンバアダプタにより、
お手持ちの10×5シリーズ/10×9シリーズイオンチェンバを
お使いいただくことも可能です。



東洋メディック株式会社

本 社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13
TEL.(03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264
大 阪 支 店：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-25-7
TEL.(06) 6441-5741 (代表) FAX (06) 6441-5745
福 岡 支 店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40
TEL.(092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027
支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山

For All Your Tomorrows
TOYO MEDIC

<http://www.toyo-medice.co.jp/> E-mail info@toyo-medice.co.jp

GE Healthcare



Partners for Better Health

Helping You Achieve Desired Outcomes

先生方が求めるアウトカム(結果)を達成するための
パートナーとなるべく 全力を尽くします

GEヘルスケア で検索

卓越した臨床	患者満足向上	稼働効率の改善	戦略的成長	経営改善
ACHIEVE	INCREASE	IMPROVE	DRIVE	IMPROVE
CLINICAL	PATIENT	OPERATIONAL	STRATEGIC	CAPITAL
EXCELLENCE	SATISFACTION	EFFICIENCY	GROWTH	PLANNING

FUJIFILM

Value from Innovation

放射性医薬品/
心交感神経診断薬・神経芽腫診断薬・褐色細胞腫診断薬
処方箋医薬品[※]

ミオMIBG-I 123注射液

放薬基：3-ヨードベンジルグアニジン(¹²³I)注射液 薬価基準収載

放射性医薬品/
心臓疾患診断薬・心機能診断薬・副甲状腺疾患診断薬

心臓疾患診断薬・心機能診断薬・副甲状腺疾患診断薬

毒薬[※]・処方箋医薬品[※] (※:「カーディオライト[®] 第一」のみ)

カーディオライト[®] 第一/注射液 第一

放薬基：ヘキサキス(2-メトキシイソブチルイソニトリル)テクネチウム(^{99m}Tc)

注射液 調製用/注射液 薬価基準収載

放射性医薬品/
心臓疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)

診断薬・副甲状腺疾患診断薬

処方箋医薬品[※]

塩化タリウム-Tl 201注射液

日局：塩化タリウム(²⁰¹Tl)注射液 薬価基準収載

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等
については添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル
ホームページ：<http://ri.fujifilm.co.jp>

TEL.03(5250)2620

2014年9月作成



hve
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病气とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病气を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://bayer.co.jp/byl>

非イオン性MRI用造影剤〈ガドブトロール注射液〉

ガドビスト[®] 静注1.0mol/L

シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること） 薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

2017年4月作成



Spectral is Always On

すべての人にスペクトラルイメージングを

innovation + you

商品名: IQon Spectral CT
医療機器登録番号: 2284E03X00023010
特定承認番号: 2284E03X00023010
記載されている製品名は、KONINKRIJK PHILIPS N.V. の商標または登録商標です。
© 2011 Philips Electronics Japan, Ltd.

IQon Spectral CT

全身用マルチスライススペクトラルCT装置

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

www.philips.co.jp/healthcare

PHILIPS

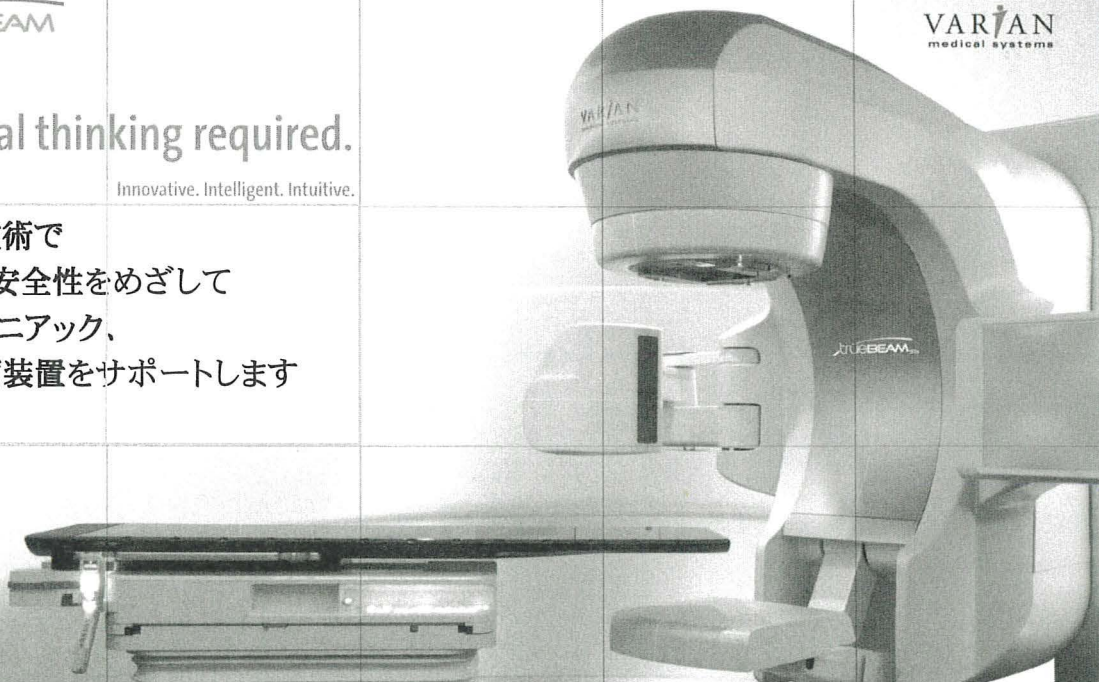
TRUEBEAM

VARIAN
medical systems

Radical thinking required.

Innovative. Intelligent. Intuitive.

確かな技術で
より高い安全性をめざして
医療用リニアック、
治療計画装置をサポートします



南九州電子サービス株式会社
<http://www.mkds.co.jp>

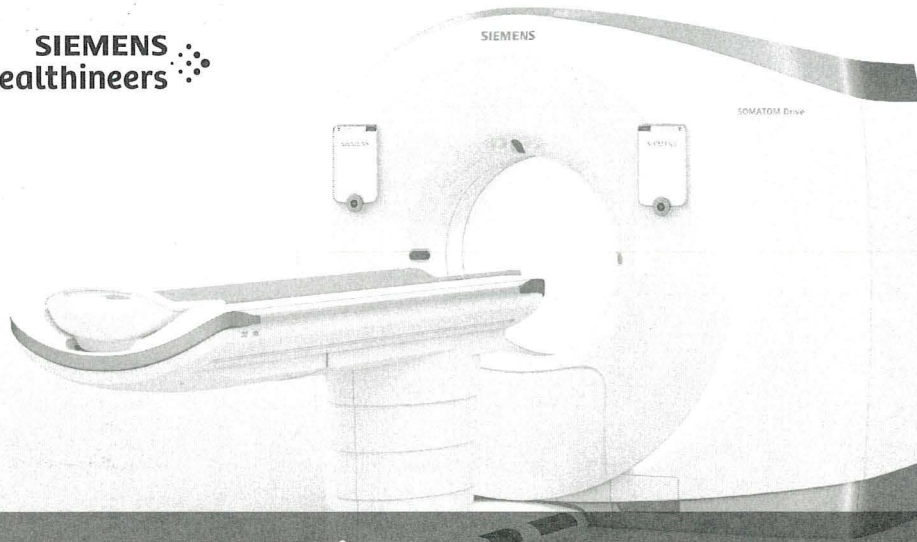
宮崎本社 宮崎市広島1丁目1-10

TEL 0985-29-8371

鹿児島(営) 鹿児島市鴨池2丁目15-2

TEL 099-253-7397

SIEMENS
Healthineers



SOMATOM Drive

Drive precision for all

SOMATOM DriveはDSCTのベネフィットを全ての人へ

www.siemens.co.jp/healthineers

全身用X線CT診断装置 SOMATOM ドライブ 認証番号:221AIBZX00003A01

nihon
medi+physics

PET/SPECT

処方箋医薬品^{注1)}
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、虚血性心疾患診断薬、てんかん診断薬

FDGスキャン[®]注
放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F)注射液

処方箋医薬品^{注1)}
放射性医薬品・心臓疾患診断薬、甲状腺疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、軟部、縦隔)診断薬

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP
日本薬局方塩化タリウム(²⁰¹Tl)注射液

処方箋医薬品^{注1)}
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性病変診断薬

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP
日本薬局方クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注射液

処方箋医薬品^{注1)}
放射性医薬品・骨疾患診断薬

クリアボーン[®]注
放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液

Ⓜ:登録商標
注)注意-医師等の処方箋により使用すること

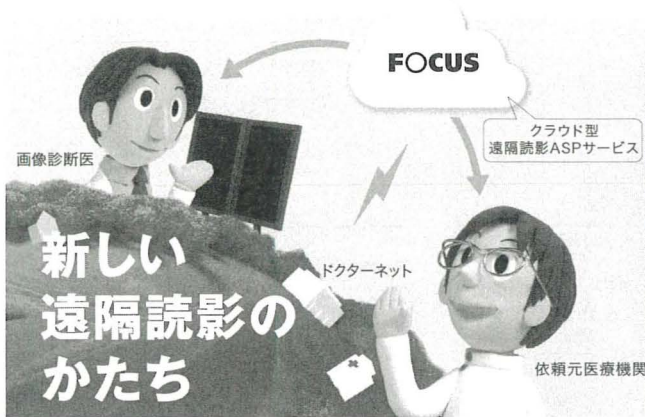
■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

資料請求先
日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。
<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂



クラウド型遠隔読影ASPサービス [ヴァーチャラド]

 **Virtual-RAD**



遠隔画像診断支援サービス [テレラド]

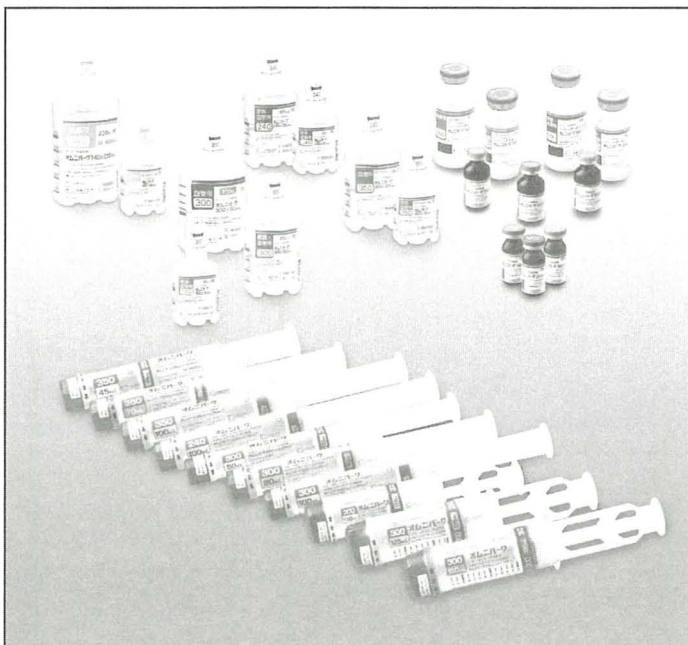
 **Tele-RAD**

ドクターネットの遠隔画像診断

遠隔画像診断を一貫したワークフローで考えるドクターネットなら、場面にあわせて選べます。

株式会社ドクターネット

本社 105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル TEL: 03-3459-5665
 宇都宮事業所 TEL: 028-657-8200 / 大阪事業所 TEL: 06-4862-5018 / 福岡事業所 TEL: 092-409-2760
www.doctor-net.co.jp



日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)
 オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注(バイアル製剤)
 オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)
 オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク300注10mL(脊髄用)

イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)
 オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)
 オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注150mL(血管用)
 オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注100mL(血管用)

日本薬局方 イオヘキソール注射液
 オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)
 オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

非イオン性造影剤

処方箋医薬品[®]

薬価基準収載



オムニパーク[®]

OMNIPAQUE[®]

※注意—医師等の処方箋により使用すること



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1



千代田テクノは
放射線

を
測る

から
守る

で
治す

放射線は危険な性質を持っている反面、有効に利用すれば人類に大きなメリットを与えてくれる無限の可能性をそなえています。

千代田テクノは、医療・原子力・産業・放射線測定などの各分野において、放射線を安全に有効利用するための機器やサービスをトータルに提供。

放射線の「利用」と「防護」の双方において、お客様のあらゆるニーズにきめ細かく対応しています。

株式会社 **千代田テクノ**

URL: <http://www.c-technol.co.jp>

e-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

千代田テクノ



JQA-QM8513
Tokyo・Osaka
Kashiwazaki Kanazawa

